

### 鳴瀬未来中

## 心を込め元気にあいさつ



### これがイチオシ 資源回収 収益金を活用

鳴瀬未来中学校では、「リサイクル資源回収」に定期的に取り組んでいます。地域の方々や小学生の皆さんにも協力していただき、段ボール・缶・新聞紙・自転車などを回収します。

2年生は、給食時に出る牛乳パックを集めています。活動で得た収益金は、部活動費などに充てており、学校生活を豊かにしています。

私たちは、さらに地域貢献に取り組む、日頃からお世話になっている地域の方々にも恩返しができればいいなと思っています。

学校名 東松島市立鳴瀬未来中学校  
所在地 東松島市野蒜上野蒜232  
創立 2013年  
電話 0225(98)6787  
校長 大川口裕義  
生徒 194人

鳴瀬未来中学校は、東日本大震災後、鳴瀬第一中と鳴瀬第二中が統合してできた学校です。私たちは、鳴瀬桜華小学校と宮野森小学校とともに月に1回、「小中合同あいさつ運動」に取り組んでいます。自分の出身小学校に向き、小学生と一緒に校門の前に立って「おはようございます」と心を込めてあいさつをします。

運動では、小学生との交流を育みながら、あいさつの大切さを理解し合うことができます。「する人もされる人も、明るく元気になれるように」がモットー。「東日本大震災によって心に癒えない傷を負った人を少しでも勇気づけることができましたらいいと思っています」と生徒会執行部の皆さんが話してくれました。

出身小学校であいさつ運動に取り組む生徒たち



編集委員 相沢柊希、佐藤優里、木村望乃、茂木ゆきな(2年)  
指導教員 佐々木岳

### 出身校に向かい活動

## わが校わがまち スクール通信



次回は  
鶴巣小(大和町)  
山下中(石巻市)

## いじめ防止へスローガン

### 片平丁小

### あったか言葉を使おう

片平丁小学校は新年度、150周年を迎えます。1873(明治6)年に児童626人の五番小としてスタートしました。河北新報社の創業、河北新報社の創業者、一力健治郎さんの出身校でもあります。長い歴史を持つ片平丁小は、北海道白老町の白老小と44年前、姉妹校の提携を結びました。代表児童が年度ごとに交互に訪問し合ってきました。しかし、新型コロナウイルス禍で手紙交換やオンライン交流になりました。直接会えなくて寂しかったですが、形を

変えても友情と交流は続いています。私たちは、いじめはあってはならないと思っています。そこで、代表委員会が昨年10月、「いじめ防止行動宣言」をまとめました。いじめをなくす強い気持ちを伝えるため、スローガンを「学校全体をあったか言葉でいっぱいしよう」に決めました。みんなで決めたスローガンの達成を目指して、150周年にふさわしい「あったか言葉」と笑顔あふれる片平丁小にしていきます。



### これがイチオシ 緑いっぱい 芝生の校庭

広瀬川に近い片平地区は、青葉山などの豊かな自然に囲まれ、とても美しいところです。広瀬川では、仙台七夕まつりの前夜祭「仙台七夕花火祭」や灯籠流しなどが行われます。

そんな自然豊かな土地にある片平丁小学校の校庭は、芝生でできています。転んでも痛くありません。しかも、あまり光を反射しないので、夏でも涼しく感じられます。

私たちは緑いっぱいの校庭が大好きです。これからも、みんなで伸び伸びと元気に遊びたいと思います。

学校名 仙台市立片平丁小学校  
所在地 仙台市青葉区片平1の7の1  
創立 1873年  
電話 022(223)3846  
校長 我妻 良行  
児童 537人



クラスごとに一文字ずつ書いて、つないだスローガン。人気者のマスコットキャラクター「かたち」とともに、「あったか言葉」でいっぱいしていきます

編集委員 染谷春希、内田智子、鈴木優衣人、三貫納陶子、国賀悠雅、佐藤乃愛(5年) 指導教員 石山宏美